



く せ ん 薫 泉

学校の目標
社会の変化に自ら対応でき、豊かな心をもち、表現力豊かな国際人を目指し、次のような子どもを育成する。

・よく考え、進んで学習する子ども
・いつも元気で、じょうぶな子ども
・こころ豊かで、やさしい子ども

昨日より今日 今日より明日へ

校長 井上光広

二期期の合い言葉を「昨日より今日 今日より明日へ」として、日々成長することを意識して二か月間すんできた矢口小学校です。この合言葉は、私の座右の銘でもあります。中庸の言葉「日々新たに、また日に新たなり」を心の支えに教員生活を送ってきました。これを子どもたちにも分かりやすい言葉に直して「昨日より今日 今日より明日へ」という合い言葉で示しました。

さて、この秋、私は「四年ぶり」という言葉を多くの場面で耳にしました。九月にはPTAとお父さんクラブ共催による「星空映画会」が四年ぶりに復活しました。ただ復活しただけでなく、子どもたちに商店街の協力店舗で使える金券をプレゼントしてくださり、浴衣を着た子どもたちが商店街を盛り上げていました。これは本校が研究を進めている教科「おおたの未来づくり」の中の地域創生にもつながる意味合いがあり、保護者の皆様も、この新教科の目指すことにご理解いただいていることに感謝の気持ちをお寄せしております。十月の取組では、子どもたちが矢口文化芸術劇場で、演劇という非日常の世界で、自分ではない登場人物役になりきり、舞台を思いきり楽しんでいく姿に、大きな心の成長を感じました。また、学校を代表して五年生が出演した大田区小学校連合音楽会も四年ぶりの参加でした。さらには同じく五年生が来週行くことになっている「伊豆高原学園移動教室」も四年ぶりの実施になります。

地域的にも十月一日に「第四十三回 四町会連合親子運動会」が本校校庭を会場として開かれ、役員の方々は「四年ぶりに従来の形式で各競技を行う」という言葉を合言葉のように口にしておられました。このように以前の生活様式がかなり戻ってきた感があります。

コロナパンデミック状態を乗り越えて、過去を取り戻すことは大切だと思います。一方で大田区は、内閣府から「SDGs実践都市」の指定を受け、おおたの未来創造プロジェクトとして明日を創造する取組を行っていきます。その四本柱のうちの一つが、未来に向けて「はばたく」人材を育成するための、教科「おおたの未来づくり」の推進となっています。この学習を通して、今後ますます地域の皆様と連携した教育活動を行い、矢口の未来を創造していくために進んでいきたいと思っております。ご理解ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

【お知らせ】

◎十一月五日（日）にPTA矢口ブロック卓球大会が矢口東小学校で行われます。

◎十一月十一日（土）午前中にPTA防災教室が行われます。（PTAがくぶり参照）

◎十一月十七日（金）の午後に行う就学時健康診断には、四年ぶりに五年生児童が手伝いをお願いします。最高学年になるために新入生たちのお世話をし、心の準備を始めます。

◎十一月十八日（土）午前九時より、本校で地域防災訓練が行われます。地域を守るための大切な訓練です。PTA防災教室と合わせて、ぜひ自発的にご参加ください。

◎十一月二十七日（月）午後には大田区教育委員会研究推進校長研究発表会（テーマ 地域とともに生きる児童の育成 教科「おおたの未来づくり」のカリキュラム開発）を行います。残念ですが、保護者の皆様の参観はできません。

十一月の生活目標

進んでよいことをしよう 生活指導部

「何のために生まれて何をして喜ぶ？」これはアニメ『アンパンマン』の主題歌の歌詞です。アンパンマンはお腹が空いた子に自分の顔をあげたり、困っている人を助けたりと「進んでよいこと」をしています。アンパンマンを描いた『やなせたかし』さんは次のような言葉を残しています。「人間が一番うれしいことはなんだろうか？（中略）結局、人が一番うれしいのは、人を喜ばせることだということがわかりました。」

家庭でも学校でも、人が喜んでくれることに喜びを覚え、他人の感謝の言葉にやりがいを感じるのではないのでしょうか。「誰かの役に立っている」その思いが生きるエネルギーになっていきます。

今月は「進んでよいこと」を行い、「生きる力」を養っていきましょう。

教科「おおたの未来づくり」の研究について

研究推進部

本校は、大田区教育委員会教育研究推進校として教科「おおたの未来づくり」の新設に向けて、昨年度から来年度までの三年間、区内小学校で活用できるカリキュラムを開発することを目的として研究実践を積み重ねています。

教科「おおたの未来づくり」は、地域の企業・団体等の皆様の協力の下、大田の未来づくりに関わっている様々な人との関わりを通して、その取組や取組に対する姿勢を学び、学んだことを基に、試行錯誤して新たなものや仕組のアイデアやデザインを創出し、創出したものを分かりやすく伝える教科等横断的な学習を行う教科です。

矢口小学校でも、教科「おおたの未来づくり」の新設に向けて、児童が本物に触れ、各分野の最前線で活躍されている方から直接お話を聞く機会が得られるように、様々な場を設定しカリキュラムを編成しています。

子どもたちの将来に必要なであろう力を、全教職員一丸となって付けていきたいと考えています。